

総合特別区域の進捗に係る評価
[観光等分野]

令和元年度

国際医療交流の拠点づくり 「りんくうタウン・泉佐野市域」地域
活性化総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(3.5+4)/2=3.8$

3.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	国際医療交流の推進	118%	4
2	訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進	79%	3

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 0 + 4 \times 1 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 3.5$

3.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.5+3.8+3.5)/3=3.6$

3.6

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.5

- ・全体的には事業開始時当初から高い達成状況で推移しており、評価できる。
- ・外国医師等交流や医療通訳実地研修が地元の観光に貢献しているか連関が不明。外国人観光客の属性と中身が重要であり、マーケティングに基づいた受入環境整備等をすべき。市内の観光資源の質が国際観光客が訪れるにふさわしいか見極められておらず、市内の観光資源を磨くとともに、ツアーを周辺地域に拡大するなどの方策も考えるべき。
- ・今後は、医療通訳者の質の担保や相応の報酬と地位・身分の保証に取り組んでいくことを期待。
- ・コロナ禍にもかかわらず、ライブ中継による取組が継続できている点は評価。今後の長期的な影響があること踏まえた進め方が望ましい。
- ・外国人がん患者診療数について、対応方法を工夫して取り組んでいるものの、目標から低迷している要因を分析すべきではないか。
- ・特区ガイドの活動は、案内業務支援という形で軌道に乗ってきたが、特区ガイドを活用する体験ツアーについても地場産品等を生かした体験ツアーの推進や、予約サイトでの積極的な訴求を期待している。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.5

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.8+3.6+3.5 \times 2) / 4 = 3.6$

3.6

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。